



加々見 保樹 議員

先達地区下水道の利用許容量拡大の考えは

現在の農業集落排水をやめ
広域下水道に直結させる

質問・・・葛窪・先達・田端地区の下水道利用許容量を増やせないか。
町長・・・現在の農業集落排水をやめ、広域下水道に直結させる。いくつかの問題を解決し、一刻も早く実現したい。

質問・・・およそ何年後に実現できるか。新たに区の負担は生じるか。
上下水道課長・・・農水省の補助事業により施工したので、財産処分の承認が必要。時期ははっきり言えない。公共下水道への接続による地元負担金はない。

□職員的人事管理について

質問・・・評価結果を給与に反映させる人事考課制度を行っているが、制度に対する評価は。

町長・・・人事評価制度はあった方がよい。課題はあったが、今は適正に行っている。

質問・・・目標を低く設定、マンネリ化等による行き詰まりはないか。
総務課長・・・係全員で目標を決めている。プロジェクト会議でマンネリ防止に努めている。

質問・・・人事異動で住民へのサービス低下は懸念されないか。希望する部署への公募制度の導入は。
町長・・・いろいろな部署を経験すると知識が上がる。部署の先輩がフォローして、サービス低下を防いでいる。異動に関しては、本人の希望を聞き、できるだけ応えている。

□財源の確保対策について

質問・・・ホームページのバナー広告・広報誌・封筒等への有料広告を募集する考えはあるか。

町長・・・今まで気が付かなかつた。今後は効果的に行う。

質問・・・ふるさと納税の推進に、納税者に町をアピールできる特産品等を差し上げる考えは。

副町長・・・寄付金を十分事業に使うことで理解してもらっている。

□その他の質問

*八ヶ岳観光圏について



小池 勇 議員

新規就農者支援の実効性を高める手立ては

庁外の有識者の知恵を借りて進める

質問・・・今町が進めている新規就農パッケージは、制度としては良くできている。あとは、質の良い人材をどう見つけ出すか、さらに、どう育てていくかが重要だ。具体的な取り組みは。

町長・・・庁内の人材だけでは十分でないので、外部の目利きの方に協力していただき、人材の発掘からその後のフォローまで関わっていただくアドバイザー的なものを考えている。

里親研修に入る前の段階で適性を見極め、適性に合った対応を考える必要がある。研修生を指導する里親、役場担当者、アドバイザー

ーが一体となって、より効果的な指導を行う。研修の進捗状況把握、研修生・里親双方に対するメンタルフォロー等、アドバイザーに期待するところは大きい。

農業実務以外の研修も重要である。経営に関する研修等、全体としてのレベルアップも必要だ。

何としても、優れた新規就農者を創り出していきたい。

□有害鳥獣対策について

質問・・・重点防衛地域を設置する考えは。

町長・・・有害鳥獣対策は、リーディングプロジェクトとして真剣に取り組んでいる。現時点では、電柵中心に進めてきた従来の欠点を埋め、精度を上げることを優先したい。これについては、専門家を集めた諮問委員会を立ち上げ、活動を始めている。

これ以上中に入れない。中にいるものは徹底的に捕獲する。全面的に防衛することも諦めてはいない。

小池議員の提案については、胸に留める。